

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 農業 科目 農業と環境

使用教科書：（ 実教 農業と環境 新訂版 ）

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

140

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教科：農業 科目：農業と情報 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 E組

使用教科書：（実教出版「農業と情報」、実教出版「30時間でマスター Office2021」）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用できるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	社会を支えるコンピュータ 【知識・技能】 コンピュータやインターネットのしくみについて理解する。 【思考・判断・表現】 コンピュータやインターネットのしくみについて、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む。	・コンピュータのしくみ ・データや情報の表現 ・ICTプロフィシエンシー検定3級合格を目指す。	【知識・技能】 コンピュータやインターネットのしくみについて理解し、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 コンピュータやインターネットのしくみについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	○	○	○	10
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識・技能】 情報表現について理解する。 【思考・判断・表現】 情報の活用等について、適切に思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む。	・文書作成と表現 ・ICTプロフィシエンシー検定3級合格を目指す。	【知識・技能】 情報表現について理解し、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 情報の活用等について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	○	○	○	10
	定期考査・返却			○	○		2
2 学期	私たちの生活と農業の情報化 【知識・技能】 情報の意義や役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 情報セキュリティやモラルについて、適切に思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む。	・情報社会とモラル ・ICTプロフィシエンシー検定3級合格を目指す。	【知識・技能】 情報の意義や役割について理解し、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 情報セキュリティやモラルについて課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	○	○	○	16
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識・技能】 情報表現について理解する。 【思考・判断・表現】 情報の活用等について、適切に思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む。	・データの集計と視覚化 ・ICTプロフィシエンシー検定3級合格を目指す。	【知識・技能】 情報表現について理解し、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 情報の活用等について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	○	○	○	16
	定期考査・返却			○	○		2
3 学期	スマート農業への展望 【知識・技能】 スマート農業の現状等について理解する。 【思考・判断・表現】 精密農業について、適切に思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む。	・スマート農業のめざす将来 ・人工知能	【知識・技能】 スマート農業の現状等について理解し、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 精密農業について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	○	○	○	2
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識・技能】 情報表現について理解する。 【思考・判断・表現】 情報の活用等について、適切に思考・判断する。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む。	・プレゼンテーション	【知識・技能】 情報表現について理解し、関連する技術を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 情報の活用等について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決している。 【学びに向かう力、人間性】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢がある。	○	○	○	10
	定期考査・返却			○	○		2
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教 科： 農業 科 目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 E 組

使用教科書：)

教科 農業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・野草の名前・特徴について理解できる。 ・造園道具の安全かつ効率的な使い方を身に付ける。 ・樹木の葉を見て、樹木を判断できる。 ・製図の基礎知識を身につける。	・レポートを分かりやすくまとめることができる。 ・論理的に考え判断しまとめりが出来る。 ・剪定において、切るべき枝を判断できる。	・実習手帳を準備できており、必要なメモをしっかりと取っている。 ・班員と協力して作業することができる。 ・自ら必要な道具が準備できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A：圃場管理 ホーの安全かつ効率的な使い方を身につける。 レポートを分かりやすくまとめることができる。 実習手帳を忘れずに持参し、メモすることができる。	・除草の方法について ・樹木の剪定について ○ホー、刈込みばさみ 等 ●レポートの提出 等	A：圃場管理 ホーの安全かつ効率的な使い方を身につけている。レポートを分かりやすくまとめることができる。実習手帳を忘れずに持参し、メモを取っている。	○	○	○	11
	B：製図 製図機器の名称と使用方法を理解する。 レポートを分かりやすくまとめることができる。 習手帳を忘れずに持参し、メモすることができる。	・製図について ○製図道具（定規・コンパス他） ●レポートの提出 等	B：製図 製図機器の名称と使用方法を理解する。レポートを分かりやすくまとめることができる。実習手帳を忘れずに持参し、メモを取っている。	○	○	○	11
	定期考査（農業鑑定）	・造園樹木について	・樹木の葉を見て、樹木名が判断できる。	○	○		2
2 学 期	A：圃場管理・樹木剪定 剪定ばさみ・剪定のこぎりの安全かつ効率的な使い方を身につける。 剪定において、切るべき枝を判断し、切る（表現）ことができる。 自ら考えて、必要な道具を準備することができる。	・圃場管理について ・樹木の剪定について ○剪定ばさみ・剪定のこぎり 等 ●レポートの提出 等	A：圃場管理 ○剪定ばさみ・剪定のこぎりの安全かつ効率的な使い方を身につけ、作業できる。 ○不要枝を理解し、切るべき枝を判断することができ、剪定することができる。 ○自ら考えて、作業に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	13
	B：製図・トレース検定 トレース検定の内容を理解し、基本的なトレースができる。 レポートをまとめることができ、課題について調べ論理的に判断できている。 自ら必要な道具を準備し、実習に積極的に取り組むことができる。	・製図について ・トレースについて ・透視図について ○製図道具・トレーシングペーパー等 ●レポートの提出 等	B：製図・トレース検定 トレース検定の内容を理解し、基本的なトレースができている。 レポートをまとめることができ、課題について調べ、論理的に判断でき、まとめられている。 自ら考えて、製図に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	13
	定期考査（農業鑑定）	・造園樹木について	・樹木の葉を見て、樹木名が判断できる。	○	○		2
3 学 期	A：造園作業の基本技術 造園道具の安全かつ効率的な使い方を身につける。また各種結束方法を学ぶ。 レポート課題について調べ、論理的に判断し、表現できる。 自ら考えて、必要な道具を準備することができる。	・造園基本技術について 道具の使用方法 ロープワーク 等 ○げんのう・きり・シュロ縄 等 ●レポートの提出 等	A：圃場管理 ○剪定ばさみ・剪定のこぎりの安全かつ効率的な使い方を身につけ、作業できる。 ○レポート課題についてしっかりと調べることができ、それを論理的に判断し、まとめられている。 ○自ら考えて、作業に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	8
	B：製図・レタリング レタリング検定の内容を理解し、基本的なレタリングができる。 レポートに授業内容を分かりやすくまとめ、期限内提出できている。 自ら必要な道具を準備し、実習に積極的に取り組むことができる。	・製図について ・レタリングについて ・透視図について ○製図道具・プリント 等 ●レポートの提出 等	B：製図・レタリング検定 レタリング検定の内容を理解し、基本的なレタリングができている。 レポートをまとめることができ、課題について調べ、論理的に判断でき、まとめられている。 自ら考えて、製図に必要な道具類を準備し、班員と協力して作業ができている。	○	○	○	8
	定期考査（農業鑑定）	・造園樹木について	・樹木の葉を見て、樹木名が判断できる。	○	○		2
							合計
							70

備考：他1単位（総合実習B）を時間外で35時間行う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 造園植栽「造園樹木」 造園樹木の分類について学び、樹木の特徴を捉え理解する。同時に、造園樹木を判別し、同定するための知識を習得する。	第1節「造園樹木」 第1 造園樹木の分類 1 実用上の分類 (1) 樹高による分類 葉の形状・着生・鑑賞部位 (2) 植物学上の分類 自然分類・系統分類	【知識・技能】 実用上の分類方法が分かる。 系統分類に基づき科・属・種を理解する。 【思考・判断・表現】 樹木を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園樹木に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	15
	B 造園植栽「花壇用草花」 春まき1年草を題材として、播種・育苗管理を実習し、体験を通して花壇用草花について知識と技術（繁殖・育種）を習得する。	第3節「花壇用草花」 第1 春まき1年草と花壇 1 実用上の分類・自然分類 (1) 農作物と園芸作物 (2) 播種と育苗管理 2 花壇とは (1) 花壇の種類と形式・役割	【知識・技能】 実用上の分類方法がわかる。 系統分類に基づき、科・属・種を理解する。 【思考・判断・表現】 草花を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 花壇・草花に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	15
	定期考査	「造園樹木」「花壇用草花」	樹木・草花の分類と管理について理解できる	○	○		1
2 学 期	A 造園植栽「造園樹木」 造園樹木の各論について学び、樹木の特徴を捉え理解する。同時に、造園樹木を判別し、同定するための知識を習得する。	第1節「造園樹木」 2 造園樹木の種類（各論） (1) 針葉樹 (2) 常緑広葉樹 (3) 落葉広葉樹 (4) タケ・ササ類 (5) 特殊樹木・地被植物	【知識・技能】 樹木各論について理解する。 系統分類に基づき、科・属・種を理解する。 【思考・判断・表現】 樹木を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園樹木に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	11
	B 造園植栽「花壇用草花」 花壇用草花の分類を理解し、各論を学習しながら実習することで、花壇用草花について知識と技術（繁殖・育種）を習得する。	第3節「花壇用草花」 3 花壇用草花の分類 4 主な花壇用草花（各論） (1) 1・2年草 (2) 宿根草 (3) 球根類 (4) ハーブ類	【知識・技能】 花壇用草花の分類がわかる。 主な花壇用草花（各論）を理解する。 【思考・判断・表現】 草花を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 花壇・草花に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	11
	定期考査	「造園樹木」「花壇用草花」	樹木・草花の各論について理解できる	○	○		2
3 学 期	A 造園植栽「造園樹木」 造園樹木の特性について学び、樹形・成長・季節現象・規格を理解する。同時に、造園樹木の育成と繁殖するための知識と技術を習得する。	第1節「造園樹木」 3 造園樹木の特性 (1) 自然樹形・人口樹形 (2) 年間成長と季節現象 (3) 造園樹木の規格 4 造園樹木の育成・繁殖 (1) 造園樹木の繁殖	【知識・技能】 樹木の特性について理解する。 【思考・判断・表現】 樹木を管理するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園樹木に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	7
	B 造園植栽「地被植物」 地被植物の種類・特性・各論について学び、実習を通して地被植物花について知識と技術（繁殖・管理）を習得する。	第2節「地被植物」 1 地被植物の種類 2 地被植物の特性 3 主な地被植物	【知識・技能】 地被植物の種類と特性がわかる。 繁殖と管理について理解する。 【思考・判断・表現】 地被植物を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	8
	定期考査	「造園樹木」「地被植物」	樹木・地被植物について理解できる	○	○		70
							合計

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教 科： 農業 科 目： 総合実習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 E組

使用教科書：（ 日本造園組合連合会-3級造園技能検定の手引き、文部科学省-造園施工管理 ）

教科 農業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・3級造園技能検定実技試験合格レベルの技術知識・技術を習得できている。 ・樹木管理（根巻き・剪定）について理解し、行うことができる。 ・小庭園の作成を行うことができる。	・三級造園技能士検定を通して、効率の良い作業方法や手順について考えることができる。 樹木剪定において、切るべき枝が判断できる。 ・樹木の一年後の形を考えることができる。 ・小庭園を作成し、思い描いたものを形にできる。	・造園について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「3級造園技能検定実技試験」 ・実技（作業）試験の区画を準備し、区画の大きさを理解させる。 ・ノコギリと剪定ノコギリの正しい使用方法を身につけさせる。	・実技試験の区画準備、測量・確認 ・丸太の天端を水平に切り出す ・各種道具の使用方法について ・親柱・間柱の据え方について	【知識・技能】 柱の天端をまっすぐに切ることができる。 【思考・判断・表現】 親柱と間柱を、水平器を用いて考え、水平に据え付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集中して穴を掘り、短時間で柱の穴が掘ることができる。	○	○	○	9
	B 単元 「竹垣」 ・四ツ目垣の各部材の名称と役割の理解させる。	・作成工程、作成手順の確認 ・四ツ目垣の各部材の名称と役割 ・作成工程 ・作業手順	【知識・技能】 竹垣の基本構造が理解できている。 【思考・判断・表現】 竹の元口・末口を判断することができ、活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的にイが結びを行い、きつく縛れるよう取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査（中間考査）	農業鑑定試験		○	○		1
	C 単元 「石材」 ・実技（作業）試験の石材敷設の工程について理解させる。 ・適切な工具を用いて石材を据え付けさせる。	・実技（作業）試験の石材敷設の工程についての手順確認 ・石材の据え付け	【知識・技能】 石を水平に据えることができる。 【思考・判断・表現】 石の厚さを考え、必要な分の深さを判断し、掘ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 できるだけ水平に据え付けられるよう、主体的に努力している。	○	○	○	9
	D 単元 「植栽・仕上げ」 ・実技（作業）試験の植栽についての理解を深めさせる。 ・適切な道具を用いて植栽することができる。 ・短時間で整地を丁寧に行うことができる。	・実技（作業）試験の石材敷設の工程についての手順確認 ・石材の据え付け	【知識・技能】 植物の向き（正面）を考え、植栽することができる。 【思考・判断・表現】 チリの寸法を考え、適切に土を均すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 時間の限り、丁寧に整地を行っている。	○	○	○	9
	定期考査（期末考査）	・農業鑑定試験		○	○		1
2 学 期	A 単元 「圃場管理」 ・自ら必要な道具を用意し、安全かつ効果的に使用することができる。 ・夏の野草の名前、特徴および生育についての理解できる。	・自ら必要な道具を用意し、安全かつ効果的に使用する ・夏の野草の名前、特徴および生育についての説明	【知識・技能】 必要な機械類の扱い方を把握しており、安全に使用することができる。 【思考・判断・表現】 必要な道具を考え、準備することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に片付けなどを行い、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査（中間考査）	業鑑定試験		○	○		1
	B 単元 「樹木の根巻き」 ・樹木の根巻きについての目的を理解する。 ・根巻きの手順が理解できている。	・根巻きに必要な資材について ・根巻きの手順について ・樹木の掘り取り方法について	【知識・技能】 根巻きの手順を理解しており、実施することができる。 【思考・判断・表現】 樹木の大きさなどから、適切に根鉢の大きさを考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験		○	○		1
3 学 期	A 単元 「小庭園の作成について」 ・小庭園の作成手順を理解している。 ・小庭園の図面を念頭に、施工することができる。 ・庭園の見せ方について考えることができる。	・小庭園の施工について ・小庭園図面の見方について ・小庭園作成の実践	【知識・技能】 様々な科目で学んだ知識を、小庭園に活かすことができる。 【思考・判断・表現】 現場で上手くいかない際に、状況に応じて適切な方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員で協力し、より良いものが作成できるよう取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査（期末考査）	農業鑑定試験		○	○		1

備考：他1単位（総合実習B）を時間外で35時間行う。

合計
70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 造園計画

教 科： 農業 科 目： 造園計画 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 E組

使用教科書：（文部科学省 造園計画 ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 造園計画 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・国内造園史、外国の庭園、造園技法、都市公園法、植栽など、作庭について基本知識を習得する。 ・製図の基礎知識・庭園設計の基本的知識を習得する。	・得られた知識を整理し、体系的にまとめることができる。 ・小庭園・卒業制作の庭園を作図することができる。	・庭園を設計するために、自ら知識を探索し、それを表現しようと努力する。 ・自ら必要な道具が準備できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A：造園概論 庭園史・日本庭園・外国の庭園の造園技法を理解する。	・庭園史（平安～江戸時代）について、外国の庭園様式について ●小テスト	【知識・技能】 庭園史・造園の変遷について理解している。 【思考・判断・表現】 造園の変遷について、体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 造園の変遷について歴史的背景を考え、考察できる。	○	○	○	6
	B：製図 製図機器を正しく使い、平面図・透視図を作図することができる。 作庭の基礎を理解する。	・平面図、透視図 ・トレース ○製図道具（ドラフター） ●課題提出	【知識・技能】 製図機器を正しく使用し、平面図・透視図を描くことができる。 【思考・判断・表現】 平面図から透視図、透視図から平面図におこすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に積極的に取り組み、期日までに課題を提出する。	○	○	○	6
	A：造園概論 造園技法・都市公園法・植栽技法を理解する。	・造園技法・都市公園法・植栽技法について ●小テスト	【知識・技能】 造園技法、都市公園法について理解し、都市の公園や緑化について理解を深める。 【思考・判断・表現】 都市の公園や緑化についての法令や、造園の技術について体系的にまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 都市公園の変遷について歴史的背景を考え、考察できる。	○	○	○	8
	B：製図 作庭の基礎を理解し、典型的な和庭園・洋庭園を作図することができる。	・ゾーニングについて ・典型的な和庭園の構造について ・典型的な洋庭園の構造について ○製図道具（ドラフター） ●課題提出	【知識・技能】 作庭の基礎を理解し、作図できる。 【思考・判断・表現】 和庭園・洋庭園の様式を理解し、典型的な庭園を作図することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 卒業庭園の作庭を念頭に、様々な技術や技法を取り入れることができる。	○	○	○	8
	定期考査	・庭園史・都市公園と作庭の基礎		○	○		1
2 学 期	A：環境保全 屋上緑化・自然公園・自然環境の保全を理解する。	・屋上緑化について ・自然公園・都市公園について ・自然環境の保全について ●小テスト	【知識・技能】 屋上緑化、自然、都市公園について理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境の保全について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の保全について考察できる。	○	○	○	12
	B：製図 作庭の基礎を理解し、小庭園を設計・製図することができる。	・庭園の設計について ・ゾーニングと動線について	【知識・技能】 製図図面の書式に従い、作図できる 【思考・判断・表現】 適切な材料を選定し、技術的・時間的に実現可能な庭園を設計できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 独自の発想を取り入れ、庭園を設計できる。グループで協議し、図面を完成させる	○	○	○	12
	定期考査	・環境保全と作庭の基礎		○	○		1
3 学 期	B：製図 コンペに向けて、卒業庭園を設計することができる。	・卒業庭園の設計	【知識・技能】 製図図面の書式に従い作図できる。 【思考・判断・表現】 適切な材料を選定し、技術的・予算的・時間的に実現可能な庭園を設計できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 独自の発想を取り入れ、庭園を設計できる。図面を完成させる。	○	○	○	16
							合計
							70

高等学校 令和 6 年度 (2 学年用) 教科 農業 科目 造園施工管理

单位数： 2 单位

使用教科書：（文部科学省 造園施工管理

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・3級造園技能検定実技試験合格レベルの技術・知識を習得できている。 ・樹木の剪定を中心とする管理作業ができる。 合理的な施工を行うために工程を管理できる。	・図面から判断し適切に施工できる。 ・樹木剪定で切るべき枝を考え判断できる。 ・バーチャート工程表で工程管理できる。	・造園について興味・関心を持ち技術・知識の習得に主体的に取り組もうとしている。 ・必要な準備物や作業を考え、積極的に行動することができる。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「竹垣」 四ツ目垣の各部材の名称と役割の 理解。作成工程、作成手順の確 認。	・四ツ目垣の各部材の名称と役割 ・作成工程 ・作業手順	【知識・技能】 四ツ目垣の基本構造を理解している。 【思考・判断・表現】 竹の扱い方を考え、適切に判断して施工 できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力し て行っている。	○	○	○	11
	B 単元 「樹木剪定」 カイツカイブキの剪定を通して、 刈込剪定の技術を向上させる。 三脚のかけ方について学ぶ。 その他樹木剪定において、不要枝 の判断ができる。	・カイツカイブキ剪定 ・刈込剪定の方法について ・三脚のかけ方について ・不要枝の判断について	【知識・技能】 樹木の種類に合わせて、適切に剪定・管 理することができる。 【思考・判断・表現】 現場の状況に合わせて、適切な三脚のか け方を判断することができる。 不要枝を判断し、切ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力し て行っている。	○	○	○	11
	定期考査・返却			○	○		2
2 学 期	A 単元 「延段とつくばい」 延段の信・行・草について理解 延段の作成例と使用される石材に ついての理解。 茶庭と路地についての理解。	・延段の信・行・草について ・延段の作成例と使用される石材 ・延段の目地について ・茶庭と路地について ・茶道とつくばいの関わりについ て	【知識・技能】 延段の信・行・草について理解している 【思考・判断・表現】 避けたい目地について理解し、考え組み 合わせを判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要なものを主体的に判断し、準備する ことができる。	○	○	○	13
	B 単元 「丁張とレンガ施工」 丁張について理解している。 レンガを適切に3段積むことがで きる。	・丁張（縦丁張）について ・レンガの使用方法について ・モルタルについて ・レンガの積み方と目地について	【知識・技能】 縦丁張の活用方法が理解している。 モルタルを適切に作ることができる。 【思考・判断・表現】 モルタルに混ぜる水分量を適切に判断で きる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要なものを主体的に判断し、準備する ことができる。	○	○	○	13
	定期考査・返却			○	○		2
3 学 期	A 単元 「工程管理と積算」 工程管理の意義について理解して いる。 図面から必要な材料を考えること ができる。 材料の価格を調べ、積算すること ができる。	・工程管理について バーチャート工程表 ネットワーク工程表 ・積算について	【知識・技能】 工程表の種類について理解し、工程表を 作ることができる。 【思考・判断・表現】 図面から必要な材料を考えることがで き、積算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協力し、積極的に積算を行う ことができる。	○	○	○	9
	B 単元 「小庭園の作成」 小庭園作成の手順を理解してい る。 班員と協力して小庭園を図面通り に作成することができる。	・各種造形物の施工手順について ・図面の見方について	【知識・技能】 計画した造形物について、作成手順を検 討し施工することができる。 【思考・判断・表現】 作成した図面から、実際の庭園にすること ができる。工程を考え取り組むことが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に庭園作成に取り 組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査・返却			○	○		2
							合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 造園植栽

单位数： 2 单位

使用教科書：（環境綠化材料

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
造園で使用する材料について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術身に付ける。 花壇用草花の名前や特徴を知り、活用できる。 基本樹木の名前や特徴を知り、同定できる。	造園植栽に関する課題を発見し、農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 レポートを活用して課題を発見、思考する。 樹木や草花の活用方法を判断できる。	造園植栽について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学ぶ、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。野帳を活用し、必要なメモを自主的に記す。班員と協力して作業することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 造園植栽「造園樹木」 造園樹木の分類について学び、樹木の特徴を捉え理解する。同時に、造園樹木を判別し、同定するための知識を修得する。	第1節「造園樹木」 第1 造園樹木の分類 1 実用上の分類 (1) 樹高による分類 葉の形状・着生・鑑賞部位 (2) 植物学上の分類 自然分類・系統分類	【知識・技能】 ・実用上の分類方法がわかる。 ・系統分類に基づき、科・属・種を理解する。 【思考・判断・表現】 ・樹木を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造園樹木に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業している。	○	○	○	12
	B 造園植栽 「造園樹木の繁殖方法」 播種・繁殖、育苗管理などの実習を通して造園樹木や花壇用草花について知識と技術（繁殖・育種）を習得する。	第2章植物材料 第1節「造園樹木」 第3造園樹木の育成・繁殖 1 造園樹木の繁殖 (1) 実生 (2) さし木 (3) 接ぎ木 (4) 取り木 (5) 株分け 2 造園樹木の育苗	【知識・技能】 ・樹木・花壇用草花の繁殖方法がわかる。 ・播種、さし木、株分けができる。 【思考・判断・表現】 ・樹木の繁殖方法の特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造園樹木の繁殖方法に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業している。	○	○	○	12
	定期考査・返却	「造園樹木」「花壇用草花」		○	○		2
2 学 期	A 造園植栽「地被植物・木材」 下草や地被植物・地被材料について学び、植物の特徴を捉え理解する。同時に、どのような場面で活用することができるのかを判別し、管理するための知識を修得する。	第2章 第2節「地被植物」 (1) 下草について (2) 地被植物について (3) 芝について (4) 苔について (5) 地被材料について 第4章 第1節「木材」 (1) 木材の分類について	【知識・技能】 ・下草・木材について理解し、活用方法を理解する。 【思考・判断・表現】 ・植物を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・下草や木材等に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業している。	○	○	○	13
	B 造園植栽「花壇用草花」 花壇用草花の分類を理解し、各論を学習しながら実習することで、花壇用草花について知識と技術（繁殖・育種）を習得する。	第3節「花壇用草花」 3 花壇用草花の分類 4 主な花壇用草花（各論） (1) 1・2年草 (2) 宿根草 (3) 球根類 (4) ハーブ類	【知識・技能】 ・花壇用草花の分類がわかる。 ・主な花壇用草花（各論）を理解する。 【思考・判断・表現】 ・草花を同定するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・花壇・草花に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業している。	○	○	○	13
	定期考査・返却	「造園樹木」「花壇用草花」	樹木・草花の各論について理解できる	○	○		2
3 学 期	A 造園植栽「竹材・石材」 竹材や石材の特性について学び、特徴を捉え理解する。同時に、どのような場面で活用することができるのかを判別し、加工・活用するための知識を修得する。	第3章 第1節「岩石材料」 (1) 岩石の分類 (2) 主な岩石の種類と特徴 (3) 庭石 (4) そのほかの庭石類 第4章 第2節「竹材」 (1) 竹材の種類と特性	【知識・技能】 ・岩石や竹材の特性について理解する。 【思考・判断・表現】 ・岩石や竹材を上手く加工・活用するための特徴を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・岩石や竹材に興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	8
	B 造園植栽 「花壇、寄せ植えづくり」 寄せ植え制作を通し装飾ノ手法、寄せ植えづくりについて知識と技術を習得する。	第2章 第3節「花壇用草花」 1 花壇とは 2 花壇用草花	【知識・技能】 ・寄せ植えづくりの方法について、種類と特性、管理について理解する。 【思考・判断・表現】 ・寄せ植えのつくり方を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・寄せ植えづくりに興味関心を示し、積極的に授業に取り組む。班員と協力して作業する。	○	○	○	8
	定期考査・返却	「岩石材料・竹材」「寄せ植えづくりについて	樹木・地被植物について理解できる。	○	○		70

高等学校 令和 6 年度（2 学年用） 教科 農業 科目 測量基礎

单位数： 2 单位

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標：

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 「平板測量」 平板測量の据え付けについて（整 準・至心・定位）について学ぶ。 必要な道具を用いて平板測量を行 うことができる。（導線法・放射 法・交会法）	第1章 平板測量 1) 平板測量の器具 2) 平板の据え付け 3) 平板測量の方法 6) 面積の算定	【知識・技能】 平板測量の据え付けを短時間で行うこ とができる。平板測量の方法を理解し、測 量することができる。 【思考・判断・表現】 閉合誤差を小さくするために、どうすれ ばよいか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力し て行っている。	○	○	○	25
	定期考査（中間考査・期末考査）	・実技試験を含む		○	○		2
2 学期	A 単元 「水準測量」 オートレベルの据え付けについて 学ぶ。 必要な道具を用いてレベル測量を 行うことができる。	第2章 水準測量 1) 水準測量の機械・器具 2) 水準測量の方法 野帳記入の方法 4) 水準測量の誤差	【知識・技能】 オートレベルの据え付けを短時間で行う ことができる。水準測量の方法を理解 し、測量することができる。 【思考・判断・表現】 測量誤差を小さくするために、どうすれ ばよいか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力し て行っている。	○	○	○	30
	定期考査（中間考査・期末考査）	・実技試験を含む		○	○		2
3 学期	A 単元 「角測量」「トラバース測量」 セオドライトの据え付けについて 学ぶ。 必要な道具を用いて角測量を行う ことができる。 トータルステーションの据え付け について学ぶ。 必要な道具を用いてトラバース測 量を行うことができる。	第3章 角測量 1) 角の種類と機械の構造 2) セオドライトの据え付け 4) 角の測定 第4章 トラバース測量 1) トラバースの組み方 2) トラバース測量の外業	【知識・技能】 測量機械の据え付けを短時間で行うこ とができる。各測量の方法を理解し、測量 することができる。 【思考・判断・表現】 測量を効率的に実施する方法を考えるこ とができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作業に積極的に取り組み、班員と協力し て行っている。	○	○	○	10
	定期考査	・実技試験を含む		○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度

教科 農業

科目 課題研究

教科 農業

科目 課題研究

単位数 3 単位

対象学年組 第 3 学年 組～ 組

使用教科書 ()

教科 農業

の目標

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
設定した課題の目的を理解し、実践して知識の定着を図り、課題を解決するために必要な技術を身に付ける。	設定した課題の解決策を探索し、科学的な根拠にもとづいて創造的に解決する力を養う。また、課題について考察し研究テーマをまとめて発表する力を育成する。	設定した課題を計画的に実行し、主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】 課題を発見する力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 調査課程及び結果をレポートにまとめその情報を基に課題を設定する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。	指導項目 ・オリエンテーション ・課題研究とは ・課題の設定 ・調査項目の設定	【知識・技能】 課題を発見することができる。基礎的な実験方法が身についている。 【思考・判断・表現】 実験・実習の経過を適切に記録することができる。 【学びに向かう力等】 課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。	○	○	○	22
	【知識・技能】 各課題の調査、実習方法を検討し研究計画を立てることができる。 【思考・判断・表現】 課題解決に向けて基礎的な知識から創意工夫をして計画する力を身に付ける。 【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。	指導内容 ・研究計画を立てる ・研究の実施 ・1学期の反省と評価 ・夏休み、2学期の計画の作成	【知識・技能】 各課題の調査、実習方法を検討しそれに基づいた研究計画を立てることができる。 【思考・判断・表現】 課題解決のための調査、実習計画を論理的に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。	○	○	○	23
2 学 期	【知識・技能】 各課題の探求に必要な知識、技術を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 各課題の過程及び結果を正確にとらえ、判断する力を養う。 【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。	指導項目 ・研究の実施 ・研究のまとめ（中間報告）	【知識・技能】 関連する法規などに従い、実験・実習を行うことができる。 【思考・判断・表現】 実験・実習の経過を適切に記録することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けて積極的に取り組んでいる。	○	○	○	45
3 学 期	【知識・技能】 パワーポイント、ワードを使用して課題研究発表の資料を作成する力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 各課題の過程及び結果を発表資料にまとめる力を養う。 【学びに向かう力等】 様々な課題に向き合い課題解決に向けて積極的に取り組ませる。	指導項目 ・報告書の作成 ・発表資料の作成 ・課題研究発表会	【知識・技能】 パワーポイント、ワードを使用して発表会の資料を作成することができる。 【思考・判断・表現】 実験・実習の経過を適切に報告書にまとめられている。研究結果について自分の考えを明確にまとめられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 研究発表に向けて積極的に取り組んでいる。	○	○	○	15
							合計 105

備考：他1単位（総合実習B）を時間外で35時間行う。

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 造園計画

教 科： 農業 科 目： 造園計画 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 E組

使用教科書：（ 文部科学省 造園計画 ）

教科 農業 の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 造園計画 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・製図の基礎知識・庭園設計の基本的知識を習得する。 ・庭園製図の技術を習得する。	・得られた知識を整理し、体系的にまとめることができる。 ・小庭園・卒業制作の庭園を作図することができる。	・庭園を設計するために、自ら知識を探索し、それを表現しようと努力する。 ・自ら必要な道具が準備できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○卒業庭園の設計Ⅰ 卒業庭園図面の作成を手順を理解する。 自身のイメージを作図することができる。 自身のイメージを伝えることができる。	・庭の形式について ・施工場所の環境把握 ・ゾーニングと地割り ・導線について	【知識・技能】 庭園設計の手順を理解している。 【思考・判断・表現】 自身のイメージを作図して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 卒業庭園について主体的に考え、積極的に作図している。	○	○	○	12
	定期考査						
	○卒業庭園の設計Ⅱ 卒業庭園図面の作成を手順を理解する。 自身のイメージを作図することができる。 自身のイメージを伝えることができる。	・テーマに沿った平面図の作成 ・パース図の作成 ・クラス内コンペを実施し、卒業庭園図面を決定させる	【知識・技能】 製図機器を正しく使用し、平面図を描くことができる。 【思考・判断・表現】 平面図からパース図を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に積極的に取り組み、期日までに課題を提出する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	○卒業庭園の設計Ⅲ （個人図面作成） 個人で考えた卒業庭園図面をケント紙に製図する。 平面図にペン入れ、着色ができる。 一点透視図を作成できる。	・平面図をケント紙へ製図させる。 ・平面図にペン入れをする。 ・平面図に着色をする。 ・同じケント紙に、一点透視図を記入する。	【知識・技能】 製図機器を正しく使用し、平面図をケント紙へ描くことができる。 【思考・判断・表現】 ペン入れや着色を行い、他者に伝わりやすい平面図が作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に積極的に取り組み、期日までに課題を提出する。	○	○	○	16
	定期考査						
	○卒業庭園の設計Ⅳ （個人図面作成） 図面の中に樹木一覧や趣旨を記入できる。 庭園のタイトルをトレースできる。 図面をきれいに仕上げるができる。	・樹木表の作成と記入について ・設計趣旨の作成と記入について ・作庭タイトルのトレースについて ・図面の仕上げについて	【知識・技能】 製図図面の書式に従い、作図できる 【思考・判断・表現】 使用樹木を一覧にまとめ、作図して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の図面を指定された期日までに、積極的に取組み、図面を完成させることができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	○CADの活用 設計した図面を、CAD図面にできる。	・CADの基本的な操作方法について ・CADを活用した自身の図面作成	【知識・技能】 CADを活用し作図できる。 【思考・判断・表現】 どのコマンドを使えば作図ができるか判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 CADを使用できるよう積極的に取組んでいる。	○	○	○	12
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 造園施工管理

教 科： 農業 科 目： 造園施工管理 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 E 組

使用教科書： 造園施工管理（東京電機大学出版局）

教科 農業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的、系統的に理解するとともに関連する技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する、課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 造園施工管理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造園施工管理について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。 造園施設工に関連する技術を身に付ける。	造園施工管理に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。レポートを活用することで、課題を発見・思考する。樹木や草花の活用方法を判断できる。	造園施工管理について目的や環境に応じた合理的な植栽につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。野帳を活用し、必要なメモを自主的に記す。班員と協力して作業することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・銀閣寺垣の構造を理解し、施工方法を理解させる。 ・施工上の留意点を理解させる。 ・材料の扱い方を理解させる。	造園施設工 庭園施設工 銀閣寺垣の作成	【知識・技術】 銀閣寺垣の構造及び施工方法について理解している。 【思考・判断・表現】 材料の扱い方について適切に判断し施工することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に銀閣寺垣の作成に取り組んでいる。	○	○	○	10
	・銀閣寺垣の構造を理解し、施工方法を理解させる。 ・施工上の留意点を理解させる。 ・材料の扱い方を理解させる。	造園施設工 庭園施設工 銀閣寺垣の作成	【知識・技術】 銀閣寺垣の構造及び施工方法について理解している。 【思考・判断・表現】 材料の扱い方について適切に判断し施工することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に銀閣寺垣の作成に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査・返却			○	○		2
	・銀閣寺垣の構造を理解し、施工方法を理解させる。 ・施工上の留意点を理解させる。 ・材料の扱い方を理解させる。	造園施設工 庭園施設工 銀閣寺垣の作成	【知識・技術】 銀閣寺垣の構造及び施工方法について理解している。 【思考・判断・表現】 材料の扱い方について適切に判断し施工することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に銀閣寺垣の作成に取り組んでいる。	○	○	○	10
	・造園土木施工に関連する知識を身に付けさせる ・切土と盛土の施工方法を理解させる	造園土木施工 敷地の造成 切土と盛土の施工方法	【知識・技術】 切土と盛土の施工方法を理解している。 【思考・判断・表現】 材料の扱い方について適切に判断し施工することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要な準備物や作業を考え、積極的に作業に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査・返却			○	○		2
2 学 期	・造園土木施工に関連する知識を身に付けさせる ・切土と盛土の施工方法を理解させる	造園土木施工 敷地の造成 切土と盛土の施工方法	【知識・技術】 切土と盛土の施工方法を理解している。 【思考・判断・表現】 材料の扱い方について適切に判断し施工することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要な準備物や作業を考え、積極的に作業に取り組んでいる。	○	○	○	21
	定期考査・返却			○	○		2
	・計画に則り、庭園を作成する ・班員と協力して、計画に沿って作業をする ・作業場の安全確保について理解させる	卒業庭園作庭	【知識・技術】 計画した造形物について、作業手順を検討し施工することができる。 【思考・判断・表現】 作成した図面から実際の庭園にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に庭園作成に取り組んでいる。	○	○	○	21
	定期考査・返却			○	○		2
3 学 期	・計画に則り、庭園を作成する ・班員と協力して、計画に沿って作業をする ・作業場の安全確保について理解させる	卒業庭園作庭	【知識・技術】 計画した造形物について、作業手順を検討し施工することができる。 【思考・判断・表現】 作成した図面から実際の庭園にすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 班員と協力し、積極的に庭園作成に取り組んでいる。	○	○	○	9
							合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 環境調査

教科： 農業 科目： 環境調査 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

使用教科書： （ なし ）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 環境調査 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
環境調査について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。	環境に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	・環境調査について興味・関心を持ち、技術・知識の習得に主体的に取り組もうとしている。 ・必要な準備物や作業を考え、積極的に行動することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「植生調査」 調査メッシュと樹木の調査方法について理解する。	・毎木調査について ・林床調査について ・樹高算出について ・生物調査について ・土壌調査について	【知識・技能】 ・植生調査の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・調査の結果を体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調査に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 「水質調査」 水質の調査方法について理解する。	・水質調査について ・植生調査について ・生物調査について	【知識・技能】 ・水質調査の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・調査の結果を体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調査に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 「大気質調査」 大気質の調査方法について理解する。	・大気質調査について	【知識・技能】 ・大気質調査の方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・調査の結果を体系的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調査に積極的に取り組み、班員と協力して行っている。	○	○	○	11
	定期考査						1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 造園CAD

教科： 農業 科目： 造園CAD 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 選択

使用教科書： （ 操作マニュアル 補助プリント ）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 造園CAD の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
製図の基礎技術（庭園及び公園の平面図、立面図、断面図、透視図）を身に付ける。	自ら考案した作品について制作意図などをプレゼンし課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	設計デザインについて目的や立地に応じた合理的なデザインにつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 「設計図面作成の基本」 設計図面作成支援ソフト ・基本機能と基本操作① ・作図練習 (エクステリアプラン)	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 枠組みの理解と操作 【思考・判断・表現】 デザインの独自性 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	9
	A 単元 「設計図面作成の基本」 設計図面作成支援ソフト ・基本機能と基本操作② ・作図練習 (エクステリアプラン)	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 ユニットの理解と操作 【思考・判断・表現】 デザインの独自性 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	9
	B 単元 「設計図面作成の基本」 ・基本機能と基本操作③ ・作図練習（造園プラン）	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 補助線の理解と操作 【思考・判断・表現】 デザインの独自性 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	9
	C 単元 「デザインコンテスト の作品制作①」 ・街区公園の設計 ・用紙と縮尺 ・敷地と公園内のゾーニング	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 360カメラの操作理解 【思考・判断・表現】 デザインの独自性 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	9
2 学 期	C 単元 「デザインコンテスト 作品制作②」 ・街区公園の設計 ・公園内の動線 ・テーマに合う公園施設の配置 ・パースの作製と図面への配置	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 図面のレンダリングの理解と操作 【思考・判断・表現】 デザインの独自性・コンセプト 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出(コンテスト)	○	○	○	9
	C 単元 「デザインコンテスト の作品制作③」 ・図面の完成 ・コンテスト入賞に必要な要素と 表現方法	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 補助線とユニットの理解とレンダリング 操作 【思考・判断・表現】 デザインの独自性・コンセプト 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出(コンテスト)	○	○	○	9
3 学 期	D 単元 「設計図面作成の応用」 ・様々なソフトウェアと作品 ・都市緑化と設計図面 ・自由作品①	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 建物デザイナーの理解と操作 【思考・判断・表現】 デザインの独自性・コンセプト 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8
	D 単元 「設計図面作成の応用」 ・自由作品②	・CAD ・操作マニュアル ・補助プリント ・外部講師のリモート授業	【知識・技能】 自由設計の指示マニュアル通りか 【思考・判断・表現】 デザインの独自性・コンセプト 【主体的に学習に取り組む態度】 課題提出	○	○	○	8
							合計 70